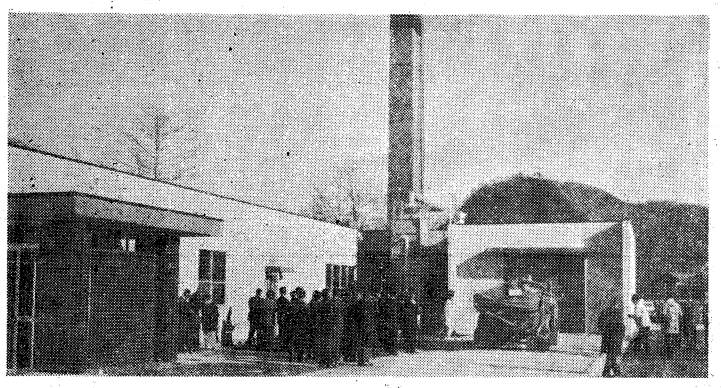
とかち新聞
主筆 松山明
(発行所)北海道足寄郡足寄町　とかち新聞社　電話2551番
本紙購読料　1カ月100円　1カ年前納1、000円

三町なかよくスタート

浄化センターが完成　広域行政の第一歩へ

本別、足寄、陸別の三町が組合議会をつくつて工事をすすめていた池北三町浄化センターの共同し尿処理場が完成したので、一日午前十時二十分から下愛冠の現地に三町の理事者、議員をはじめ関係者など八十名があつまつて修ばつ式をおこないました。

利別川のほとりに建てられた処理施設はし尿の終末処理場とは思われない明るい近代的な建物で、式は施設の心臓部にあたる中央監視室でおこなわれ、松山足寄神社宮司による修ばつ、のりとにつづいて、三町の代表、建設業者などの玉串奉典のあと小林足寄町長、水元本別町長、千葉陸別町長、斉藤組合議会議長がそれぞれ各施設の始動ストッチを押して機械の初運転を試みてから、正面玄関をすべり出した本別（加藤氏）足寄（金森氏）陸別（中島）三町のし尿収集業者の運搬車による投入式（写真）で現地の行事をおえました。



このあと午前十一時三十分から公民館での落成式にうつり、水元町長の開会あいさつ、小林町長兼組合長の式辞、工事監督の飯田足寄町建築係長の工事報告につづいて工事主体請負の西原環境衛生研究所と、用地協力の大谷キクエ、南義雄の両氏に感謝状と記念品がおくられ、十勝支庁長、本別保健所長、十勝町村会長、十勝町村議長会長からそれぞれ祝辞があり青木西原研究所会長の謝辞のあと千葉町長から閉会のあいさつがあつて式をとじ、斉藤議長のあいさつ国安陸別町議会議長の発声で乾杯ののち解散しました。

フアンタで乾杯

○…となり合せの三町なから本別と足寄はとかく対立気味で仲をとりもつ陸別が苦労したほどでしたが、こうして三町が金を出し合つて共同の施設を完成してなかよくいつしよに落成式をあげたというのは画期的なこと。

○…閉会のあいさつで陸別の千葉町長が『これが第一歩で明年四月から消防事務組合も発足するし、これからますます広域行政をすすめてゆきたい』とのべたのにたいして満場は同感のおももち。

○…型どおりのあまりにも形式的な落成式がおわつたところで祝賀会となつたものの、フアンタで乾杯してただちに解散の〃一分間祝賀会〃。

○…交通事故防止のための心ずかいは結構だとしてもせつかく三町の代表的な人々が一堂に顔をそろえたのだから、酒類ぬきでもこの機会に懇談しあえるようにひとくふうがあつてもよかりそうなもので、全員をメイテイ運転常習犯扱いで追い払つたような格好ー。

どこへゆく社会党

二日におわつた社会党大会で、成田委員長ー石橋書記長の執行体制で再スタート

×　×

それにしても党内は四分五裂のみにくい派閥の斗い。

×　×

自分の党内すらまとめられないでいて、どうして自民党に立ち向えるのかの感。

×　×

保守党政権の半永久固定化への最大の功労者?は社会党であることを再確認。

×　×

国民が社会党から離れていくというよりも、社会党の方が国民から離れていくのではなかろうか。

大がかりな無料診療で奉仕

ライオンズクラブ　十三日にラワンで

帯広平原ライオンズクラブと足寄ライオンズクラブでは、昨年の芽登地区での奉仕活動につづいて、きたる十三日午前九時三十分から午時三時までラワン小学校を会場にして、同地区周辺住民を対象にしての大がかりな無料診療デーを開催することになりました。

当日は帯広市から

内科	洞田淳一郎
同	三輪栄一
同	本永　勲
小児科	佐藤民子
外科	小林定道
整形外科	長谷川　敏
耳鼻科	山川　薫
産婦人科	坂野いさお
同	本間勝男
眼科	高瀬　彰
歯科	小林　薫

の諸先生をはじめ薬剤師三名、X線技師、検査技師各一名、看護婦二十余名が大挙来町して、治療を必要とする人には無料で投薬もするもので、当日、会場から遠い地区にはバスで迎え送りもするという至りつくせりの師走のプレゼントとなりそうです。

役場敷地　調停案をねり直し

こんどは議決へ?

足寄町役場庁舎の敷地問題についての前町長高橋安蔵氏の申し立てにかかわる民事調停条項をねり直すことになり、議会で問題となつた字句を修正し、相互の所有権移転登記の時期を明らかにし、高橋氏が受領した風倒木代金を複利計算で差し引くことなどで合意に達したもようですが町が一千五百坪の役場敷地を確保するために高橋氏にたいして百一町歩の町有林と八百九十四万円の現金をわたして解決をはかるという大筋にはかわりないものとみられます。

このあとは、双方のいい分をきいた裁判所側がこれを成文化して調停調書として近く送達するので、これによつてふたたび町議会に提案することになりますがこんどは議決を得るものと町側も高橋氏側も期待しているようです。

部でふたたび調停委員会をひらきました。

この日は町側と高橋氏側とのあいだで、町議会で否決となつた調停条項をねり直すことになり、議会で問題となつた字句を修正し、相互の所有権移転登記の時期を明らかにし、高橋氏が受領した風倒木代金を複利計算で差し引くことなどで

町に実質的な損はない

なんとかこの線で解決したい町側の意向としては

一、役場庁舎が建つている土地が十五年たつても町のものでないという変則状態をなくしたい

二、この土地の所有名義が高橋氏であるからには、なんとしても同氏の承諾を得なければ移転登記ができない

三、交換の議決によつて相互にただちに引き渡す契約をして、町は庁舎を建てて使用したが、町有林の方は開拓財産の制限ですぐ引き渡せなかつたことは契約違反としていくらか補償しなければならない

四、不動産鑑定士が三年前に双方を評価したときに役場敷地は三千九十九万円だつたのに町有林の方は一千五百万円だつたようにヒラキがあり、このさい八百九十四万円を追加しても実際問題として町に実質的な損失はないなどをあげています。

損得の問題ではない

これにたいして、この調停への動きを批判する側としては

一、この問題の解決を引き延ばしているのは町側ではなく、高橋氏の得手、勝手なご都合主義によるのだから、町は急いで高橋氏のベースに引きこまれることはない

二、移転登記ができないのは高橋氏のせいなのだから、なにもあわてることはない

三、開拓財産であることはお互いに承知していたことであり、それでも立木は成長しており、山林に地目を変更して高橋氏に移転登記できるようになつたのに、高橋氏は町長として八年間、わざとその手続きをしなかつた

四、不動産鑑定士は高橋氏の指示で一方的に評価したものであり、かりにそれが妥当であるとしても評価は昭和三十一年の交換議決のさいの稲荷神社跡地として評価したものであり、いまになつて町が発展して地価があがつたからといつて評価の対象をかえるのはムチャなはなしではないかとしており、営利企業ではあるまいし、公共団体が目先の損得や取引によつて筋のとおらない処理をすべきではないとしています。

カメラ　八ミリ　写真材料
上野カメラ堂
上野復興　足寄駅通り　T二五一二

大自然のなかの人工美
ーいで湯のふるさとー
観光と保養の
芽登温泉
足寄町芽登　T二八五五

躍進めざす総合建設
有限会社　協栄建設
代表取締役　中山源吾
足寄町西区　電話二五六九番

家具と建材
信用は最大のサービス
技術と納期を誇る!
家具　建具　製造販売
住宅内装に新建材を!
佐藤家具建材店
足寄駅前　電話二二二一番

技術に生きる!
テレビ　ラジオ　レコード　ステレオ
世界のビクター
ーあらゆる電気器具ー
有限会社
ミネ・デンキ
足寄劇場前　電話2642番

収穫の秋です!
秋冬衣料を各産地から仕入れて参りました。大量に入荷いたしましたので、是非ご用命下さい!
株式会社　前田呉服店
足寄駅前商店街　電話二〇二二番